

5. 診 療

1) 病院概況

(1) 本 院 (院長：森山寛、副院長：落合和徳、谷口郁夫、橋本和弘、大水美名子、事務部長：今出進章)

(1) 病床利用状況

平成20年度の病床利用率は稼働床1,048床に対して84.7% (昨年比-2.3)、平均在院日数は、13.0日 (昨年比-1.0日) であった。

(2) 患者紹介率

平成20年度の紹介率は年間平均で医療法53.2% (昨年比+4.4)、保険法46.5% (昨年比+3.7) であった。

(3) 初期臨床研修

平成20年度採用者は医科38名 (内訳：本学卒16名、他学卒22名)、歯科 2 名の計40名であった。

(4) 行政監査・指導・検査

① 平成20年度立入検査 (平成20年10月29日)

② 医療法第25条第3項による特定機能病院の立入検査 (平成20年10月29日)

③ 精神病院等実地指導 (平成20年11月27日)

(5) 5症例に対して生体肝移植の適否が検討され、その内4症例において移植手術が実施された。

(当院3例目：平成20年4月18日、4例目：平成20年7月25日、5例目：平成20年10月31日、6例目：平成21年1月16日)

(6) 先進医療 (高度医療含む)

診療報酬改定に伴い先進医療の取扱いが改正、高度医療評価制度の創設により、「高度医療」が第3項先進医療に編成された。

① 診療報酬改定により保険収載 (5件)

・培養細胞による先天性代謝異常診断 (小児科)

・顔面骨・頭蓋骨の観血的移動術 (形成外科)

・画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術 (耳鼻咽喉科)

・実物大臓器立体モデルによる手術計画 (整形外科)

・超音波骨折治療法 (整形外科) ※一部保険収載され一部は先進医療で継続

② 新規申請 (申請5件、うち承認2件)

・乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索 (乳腺・内分泌外科)

平成21年4月1日付承認

・臍腫瘍に対する腹腔鏡補助下臍切除術 (肝胆膵外科) 平成20年6月30日承認

・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索 (皮膚科) 申請中

・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索 (消化管外科) 申請中

・下肢3次元再構築画像を用いて術前計画から設計した手術器機による人工関節手術への補助 (整形外科) 申請中

(7) 臨床研究、保険適用外診療 (平成20年度審査状況)

認可件数：新規申請95件、変更申請 (期間延長など) 77件

(8) 診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業

当院で4例目 (東京地域38例目) となる死亡調査分析 (解剖) が実施された。

(平成20年10月9日)

(9) 病院改修 (外来改修等) について

① 外来整備工事

・C棟地下1階フィルム倉庫跡地を利用して、スポーツウェルネスクリニック・リハビリテーション室の新設 (平成20年5月)

- ・外来棟 2 階精神神経科外来跡地を利用して、心エコー・ホルター心電図・トレッドミル検査室の新設 (平成20年 5月)
 - ・外来棟 2 階産婦人科外来跡地を利用して、外来点滴室の新設 (平成20年11月)
 - ② 健診センター内改修工事 (内視鏡検査室の移転・乳房検査室の新設等) (平成20年 5月)
 - ③ 病院病理部移転 (中央棟 5 階 → E 棟地下 1・2 階) に伴う改修工事 (平成20年10月)
 - ④ 外来棟 4 階患者支援・医療連携センター改修工事 (平成21年 3月)
 - ⑤ 医療ガス設備定期整備 (平成21年 2月)
 - ⑥ E 棟病棟用 UPS バッテリー取替え工事 (平成21年 3月)
 - ⑦ 中央棟地下 3 階機械室省エネ対策工事 (平成21年 3月)
- (10) 医療安全管理
- ① リスクマネジメント委員会、4 病院リスクマネジメント会議、フロアリスクマネージャー会議、医療安全運営会議等を主管し、医療問題発生防止並びに医療安全推進活動を実践した。(通年)
 - ② 発生した医療安全問題について、必要に応じて関係者を招集し、問題点の検証や以後の対策を組織として決定し、実践した。(通年)
 - ③ パソコンによる医療問題の発生源入力システム safe master を利用した問題事例の収集と分析を通じ、再発防止策を立案し実践した。(通年)
 - ④ 基礎研修、一般研修、専門研修の 3 部門より構成されるリスクマネジメント教育・研修計画を策定し、年度内に一人 2 回以上の出席を目標に出席ポイント制度を運用した。また、出席時に配布するシールを各部署の一覧表に貼付して管理した。(通年)
 - ⑤ 都内の特定機能病院における医療安全推進対策の向上と病院間連携を目的とした、私立大学病院医療安全推進連絡会議の幹事校を担当し、大学間相互ラウンド、メディエーター研修会、自治医大の見学等を実施した。(通年)
 - ⑥ システム工学の見地からみた医療問題分析手法について、東大・早大・慈恵共同研究を継続した。(通年)
 - ⑦ 医療安全院内ラウンドを実施した。
 - ・全外来・中央診療部門、病棟、手術部門、診療支援部門対象ラウンド (通年)
 - ・附属病院間の相互ラウンド (各病院訪問、来訪各々 1 回、計 6 回)
 - ・私立大学病院間の相互ラウンド (訪問 2 回、来訪 1 回、計 3 回)
 - ⑧ 全ての教職員や委託・派遣職員に対し、携帯版リスクマネジメントマニュアルを配布し、医療安全に必要な事項の周知徹底を図った。(平成20年 4月)
 - ⑨ 愛宕警察署への異状死の届出ガイドラインを改訂した。(平成20年 4月)
 - ⑩ 輸血拒否患者対応ガイドラインを制定した。(平成20年 5月)
 - ⑪ 医療安全推進週間を実施した。(平成20年11月)
 - ・患者向けの「安全な医療にご協力いただくために」のリーフレットを作成し配布した。
 - ・医療安全のシンボル「みどりのリボン」を全ての教職員、学生、委託職員が着用した。
 - ・4 病院合同リスクマネジメントシンポジウム等の教育・研修企画を実施した。
 - ・4 病院合同災害対策訓練を実施した。
 - ・各部署で行っている医療安全対策について検討し、69 部署からの回答を得た。
 - ・医療安全院内ラウンドを薬剤部、栄養部、臨床工学部にて実施した。
 - ⑫ 患者向けの医療安全対策のポイントをまとめたリーフレット「安全な医療にご協力いただくために」を作成し入院患者に配布した。(平成20年11月)
 - ⑬ 麻酔部門の更なる安全管理の徹底を目的に麻酔部門チーフリスクマネージャーを任命した。(平成20年12月)
 - ⑭ 手術部位の誤認防止慈恵版マーキング実施マニュアルを制定した。(平成21年 3月)
 - ⑮ 医療安全対策を周知徹底した。
 - ・日本医療機能評価機構医療事故情報収集事業「医療安全情報」を周知徹底した。(通年)

- ・転倒・転落発生後の対応ガイドラインを制定した (平成20年4月)
- ・処方オーダーにおける小児薬用量のチェックの徹底を注意喚起した。 (平成20年5月)
- ・カルテ共有台紙「有害事象情報」を導入した。 (平成20年5月)
- ・抗凝固薬・抗血小板作用薬の休薬、周術期使用、再開に関する指針を制定した。 (平成20年6月)
- ・ワクチン接種における運用と予防接種マニュアルを制定した。 (平成20年6月)
- ・輸液ミキシング及び施行時のダブルチェックの徹底を注意喚起した。 (平成20年6月)
- ・医療機器の保守点検・安全使用に関する管理手順書を改訂した。 (平成20年7月)
- ・医薬品の有効期限の適正管理を注意喚起した。 (平成20年8月)
- ・食物アレルギー患者配膳トレーを変更した。 (平成20年9月)
- ・医薬品安全使用のための業務手順書を改訂した。 (平成20年9月)
- ・医療機器借用時の事前手続を周知徹底した。 (平成20年9月)
- ・MR オーダ時・検査時の金属等の確認を周知徹底した。 (平成20年11月)
- ・ジャクソンリリース回路使用時の確認を周知徹底した。 (平成20年12月)
- ⑩ 食事による誤嚥や窒息等を防止する食事について注意喚起した。 (平成21年1月)

(11) 院内感染対策

- ① サーベイランスの実施
サーベイランスを行い医療処置感染の発生状況の把握とフィードバックを実施した。
- ② 感染対策強化病棟への介入
耐性菌検出や創感染などの多い部署のフロアリスクマネージャー、リンクナースとミーティングを行い、データのフィードバックと改善のための支援を行った。
- ③ 抗菌薬適正使用の推進
抗MRSA薬の薬剤血中濃度(TDM)の測定を強化し、診療科へのフィードバックを行った。
- ④ 環境の整備
処置室、器材室、リネン室の物品配置について基準を作成し整備した。
- ⑤ 教育啓発活動
全職員に対するセミナーを8回、認定看護師オープン講座を5回、各部署別の勉強会を15回開催し、計1856名の参加を得た。
- ⑥ 新型インフルエンザ対策
新型インフルエンザ対策小委員会を設置、フェーズ4以降のマニュアルを策定、発熱外来シミュレーションを実施した。
- ⑦ 各附属病院との連携強化
テレビ会議システムを使用したセミナーを開催した。
本院の感染対策委員会に各附属病院から参加してもらい情報共有を図るとともに、職員の小児ウィルス性抗体価検査の実施など共通する対応を4病院で実施した。

(12) 東京都認定がん診療病院として認定された。 (平成20年4月1日)

(13) 3年周期で実施される厚生労働省の統計法に基づく患者調査である医療施設静態調査、患者調査医療を実施した。 (平成20年10月22日)

(14) 保険関係承認・届出関係

- ① 診療報酬改定に伴う施設基準届出 (平成20年4月11日)
- ② 地域連携診療計画管理料(追加の都度届出)※脳卒中連携病院の追加に伴う届出
- ③ 冠動脈CT撮影加算及び心臓MRI撮影加算 (平成20年7月29日)
- ④ 歯科外来診療環境体制加算 (平成20年12月1日)
- ⑤ 外来化学療法加算1※対象病床2床増床に伴う届出 (平成20年11月27日)
- ⑥ ハイリスク分娩管理加算 (平成20年12月26日)
- ⑦ ハイリスク妊娠管理加算※産科補償制度加入要件追加に伴う届出 (平成20年12月26日)

- ⑧ 評価療養の届出 (平成20年 4月30日)
 その他、届出医師及び看護師の変更、実施場所の追加に伴う施設基準の届出を行った。
- (15) 患者支援・医療連携センター
- ① 東條克能診療医長（糖尿病・代謝・内分泌内科）がセンター長に就任
 (平成20年 7月より)
 - ② 橋本圭司非常勤診療医員（リハビリテーション科）が副センター長に就任
 (平成20年10月より21年 1月末日まで。人事異動により解任)
 - ③ 角田亘診療医員（リハビリテーション科）が副センター長に就任
 (平成20年10月より21年 3月末日まで。人事異動により解任)
 - ④ 宮田市郎診療医長（小児科）が副センター長に就任 (平成21年 3月より)
 - ⑤ 東京都認定がん診療病院機能強化事業として、医療連携室が窓口となりがん相談支援事業を開始 (平成20年 4月より)
 - ⑥ 後期高齢者退院調整加算算定のための退院支援計画書フォーマット作成、運用システム構築、算定開始 (平成20年 6月より)
 - ⑦ 脳卒中地域連携パスの運用を開始 (平成20年 6月より)
 - ⑧ 血管外科入院患者向け転退院事前説明用紙導入に向けての関連部署打ち合わせ、運用開始 (平成20年 6月より)
 - ⑨ 当院が港区在宅緩和ケア・ホスピスケア支援システム中核病院部会の委員に加わる
 (平成20年10月より)
 - ⑩ 患者支援・医療連携センター 3部門（在宅療養指導室、ソーシャルワーカー室、医療連携室）の一室化を図る (平成21年 1月)
- (16) 診療体制の整備
- ① 診療報酬改定に伴い、各種施設基準の届出の実施。 (平成20年 4月)
 - ② レセプトオンライン請求を開始した。 (平成20年 6月10日)
 - ③ 再来受付機の 1台を母子センターへ移設した。母子センター受診患者や中央棟での検査患者の受付処理が可能となり、患者動線の短縮が図れた。 (平成20年 8月 5日)
 - ④ 内視鏡オーダと内視鏡部門システム、手術オーダと手術部門システムが稼動した。
 (平成20年 9月 1日)
 - ⑤ SPD 業務の運用変更を行った。 (平成20年 9月 1日)
 - ⑥ 病棟テレビの更新や患者向けインターネット回線設置に伴い、個室料金の改定を行った。
 (平成20年10月 1日)
 - ⑦ 臨床研修センターが設置された。 (平成20年10月 1日)
 - ⑧ 外来患者の点滴室として「外来点滴室」を外来棟 2F に開設した。それに伴い外来棟 3F の「外来点滴治療室」は「外来化学療法室」と名称を変更した。
 (平成20年12月 1日)
 - ⑨ 大学 2号館 1階カンファレンス室をオーダリング室（PC 4台設置）に用途変更した。
 (平成21年 1月26日)
 - ⑩ 東京都脳卒中急性期医療機関に認定された。
 東京都の事業である脳卒中救急搬送体制の構築について当院も参画することとし、院内の調整を行った。平成21年 2月のモデル実施を経て平成21年 3月 9日より都内全域で実施されている。
- (17) 患者サービス
- ① 入院・外来とも患者満足度調査を実施した。 (平成21年 2月)
 - ② 入院患者向けフロアコンサート
 1. 日 時：平成20年12月 6日（土）午後 3時30分～午後 4時30分
 演 者：本学合唱部

2. 日 時：平成20年12月25日（木）午後4時～午後5時
演 者：原田 真二さん（歌手）
- ③ 患者向け広報誌「すこやかインフォメーション」第15号（平成20年4月）第16号（平成20年7月）第17号（平成20年10月）第18号（平成21年1月）を発刊した。
- ④ 「愛宕山みんなの健康教室」を開催した。※NHK 放送博物館と共催
1. 日 時：平成20年6月28日（第14回）参加者27名
2. 日 時：平成20年11月22日（第15回）参加者49名
- (18) 講演会、シンポジウムの開催について
- ① 初期臨床研修医オリエンテーション
- ・日 時：平成20年4月4日 午前11時～午後12時
テーマ：1) リスクマネジメント総論
2) インフォームド・コンセントについて
3) 携帯版リスクマネジメントマニュアルの説明
- ② 4病院合同慈恵医大褥瘡セミナー
- ・日 時：平成20年11月11日 午後6時～午後7時35分
テーマ：『急性期病院における褥瘡対策～チーム立ち上げから今までの軌跡～』等
講 師：三富 陽子先生（京都大学医学部附属病院看護部管理室 看護部師長）
- ③ 4病院合同リスクマネジメントシンポジウム（合計2回開催）
- ・日 時：平成20年11月4日（月）午後6時～午後7時30分 テレビ会議システム
テーマ：医療の質、安全の質（本院主催）
 - ・日 時：平成21年3月9日（月）午後6時～午後7時 テレビ会議システム
テーマ：医療安全推進週間で実施した各部署の改善報告会（第三病院主催）
- ④ リスクマネジメント基礎研修会
- ・日 時：第1回 平成20年4月18日（金）第2回 平成20年5月20日（火）
第3回 平成20年10月20日（月）午後5時30分～午後6時30分
テーマ：リスクマネジメント総論、携帯版リスクマネジメントマニュアルについて
- ⑤ 東大・早大・慈恵共同研究発表
- ・日 時：平成20年11月26日（水）午後5時30分～午後7時
テーマ：1) 医療安全のための業務プロセス可視化ユニットプロセス構造化を通じた原因特定と改善手法
2) ユニットプロセス構造化を通じた患者ID間違い発生状況の分析
- ⑥ 薬剤・感染セミナー
- ・日 時：第1回 平成20年6月30日（月）午後6時～午後7時
テーマ：1) 抗菌薬とは
2) アナフィラキシーショックについて
3) 抗MRSA薬の使い方
 - ・日 時：第2回 平成20年12月11日（木）午後6時～午後7時
テーマ：1) 医薬品業務手順書について
2) TDMとは？
3) ノロウイルスの感染について
- ⑦ 感染対策セミナー
- ・日 時：第1回 平成20年7月7日（月）午後6時～午後7時
テーマ：抗菌薬耐性－特にβラクタマーゼについて－
 - ・日 時：第2回 平成21年2月3日（火）午後6時～午後7時
テーマ：新型インフルエンザによるパンデミックへの対応－医療機関における対応－
- ⑧ 転倒転落の講習会
- ・日 時：第1回 平成20年7月9日（水）午後6時～午後7時

テーマ：考えてみよう！ 行動してみよう！ 転倒予防！

- ・日 時：第2回 平成21年2月2日（月）午後6時～午後7時
テーマ：これだけは知っておこう！転倒予防

⑨ リスクマネジメント研修会

- ・日 時：平成20年9月22日（月）午後6時～午後7時
テーマ：医療時事故の初期対応～訴えられないために～

⑩ 医療安全ワークショップ

- 日 時：平成20年4月18日（土）午後1時～午後5時 参加者 104名
- 日 時：平成20年8月16日（土）午後1時～午後5時 参加者 109名
- 日 時：平成20年9月20日（土）午後1時～午後5時 参加者 84名
- 日 時：平成21年1月17日（土）午後1時～午後5時 参加者 68名

⑪ 医療機器の安全使用講習会（通年開催）延べ参加者：534名

(19) 慈恵 ICLS コース, 慈恵 BLS コース

① 心肺停止患者に対する適切な救急蘇生の手技教育「慈恵 ICLS コース」（年間5回）

- 日 時：平成20年5月25日（日）午前8時30分～午後6時 青戸病院
- 日 時：平成20年7月27日（日）午前8時30分～午後6時 本院
- 日 時：平成20年9月28日（日）午前8時30分～午後6時 本院
- 日 時：平成20年11月30日（日）午前8時30分～午後6時 柏病院
- 日 時：平成21年1月25日（日）午前8時30分～午後6時 第三病院

② 初期心肺蘇生術の講習会「慈恵 BLS コース」を年間18回開催した。

(20) 鏡視下手術トレーニングコース

鏡視下手術を行う外科系医師の育成、認定を行う独自の制度である鏡視下手術トレーニングコース認定試験を実施した。(STEP 1計4回、STEP 2計4回)

(21) 東京都赤十字血液センターによる献血が実施され、過去最高の献血者数となった。

献血者138名（申込者数173名） (平成21年2月4日)

(22) 慈恵医大晴海トリトニッククリニック（所長：阪本要一）

平成20年度の患者数実績は、1日平均外来患者数140.2人（昨年比-2.9人）、うち健診は27.2人（昨年比+0.5人）である。

(2) 青戸病院（院長：伊藤 洋、副院長：吉田和彦、蔵田英明、事務部長：横山秀彦）

(1) 病床利用率

- ① 平成20年度の病床利用率は、稼働床352床に対して88.8%、平均在院日数は11.9日であった。

(2) 患者紹介率

- ① 平成20年度の患者紹介率は医療法で46.9%、保険法で44.5%であった。

(3) 患者サービス

- ① 平成20年9月8日より、入院患者に対してお見舞いカードの発行を開始した。
- ② 平成20年10月18日、教職員有志によるフロアコンサートを開催した。
- ③ 平成21年2月21日、教職員有志によるフロアコンサートを開催した。

(4) 医療連携

- ① 平成20年4月、東京都からの受託事業である、区東北部糖尿病医療連携検討会の座長（糖尿病・代謝・内分泌内科 蔵田診療部長）及び事務局を継続受託した。
- ② 平成21年2月より、紹介元医療機関を対象に登録医制度を開始した。
- ③ 平成21年1月～3月にかけて、病病連携構築のため近隣3医療機関を訪問した。

(5) 受託事業

- ① 平成20年10月、東京都からの受託事業である、平成20年度東京都看護職員地域確保支援事業を受託した。